

# さざんくるす

## 自治体立優良病院総務大臣表彰受賞

紀南病院が、平成30年度自治体立優良病院総務大臣表彰を受賞しました。和歌山県下の病院では、初めての受賞となります。

この自治体立優良病院総務大臣表彰は、総務省が昭和61年度より実施している表彰です。これは健全な経営が確保されており、かつ、地域医療の確保のために重要な役割を果たしていると評価される自治体立病院を表彰するものです。ただ、表彰を受けるにあたっては、全国自治体病院開設者

September 1st.2018

vol.60

協議会及び全国自治体病院協議会という2つの協議会(以下、「両協議会」という。)から推薦を受けなければなりません。両協議会からの推薦の条件は、前年度に全国自治体病院開設者協議会及び全国自治体病院協議会両会長表彰(以下、「両会長表彰」という。)を受賞しており、なおかつ、表彰の前年度も地域医療の確保のために取り組みながら引き続き黒字を出していること、この2つの条件を満たさなければなりません。この両会長表彰を受賞するには、過去6年間の経営状況と、①救急医療②保健衛生活動③地域連携④高度先駆的医療⑤へき地医療に対する取り組み状況が審査されます。その上で改めて翌年に、同様に過去6年間の経営状況と地域医療への取り組み状況が審査されますので、結局のところ、総務省に推薦されるには、過去7年間の決算において黒字を出していることと地域医療への取り組みが評価されることとなります。



奥野総務副大臣から表彰盾授与

一般に自治体病院は、地域医療にとって必要な医療であれば、たとえ不採算部門であってもそれを担わなければならないので、7年連続で黒字というのは実は相当ハードルが高い基準です。そのため、平成29年度までの32年間でわずか148病院しか表彰されておりません。また、都道府県の中には、被表彰病院を輩出したことのないところもいくつかあります。和歌山県もこれまで両会長表彰を受賞した病院はありましたが、



主催者と受賞病院長記念撮影

総務大臣表彰を受けた病院は有りませんでした。

当院は、平成23年度より黒字が続き、平成29年度には両会長表彰を受賞することが出来ました。平成29年度も黒字が見込めましたので、総務大臣表彰に推薦して頂くため、両協議会に平成23年度から平成29年度までの決算状況とこの間の地域医療への取り組み状況を報告しました。

当院は、救急医療、周産期医療やがん診療への取り組み、近隣医療機関への医師派遣、カテーテル治療や内視鏡手術といった先駆的医療の提供、予防医学としての健診活動等、地域医療の確保に努めておりましたので、審査もすんなりと通るのではと楽観しておりました。ところが、総務大臣表彰の審査は、両会長表彰の時よりも数段手厳しくなり、こと細かなところまで質問されました。説明に窮する質問も多々あり、問合せが来る度に、何度も冷や汗をかきながら回答しておりました。総務省の発表があるまでは、まるで受験生の様に祈るような思いだったので、被表彰病院の中に当院を確認した時は、ホッと安堵しました。

こうして、晴れて受賞できた次第ですが、同時に、被表彰病院としての責任の重さもひしひしと感じております。当院は、昭和20年の開院以来、常に地域の中核病院として、急性期医療を担ってきたわけですが、今後、より一層、地域医療のために尽くして行かなければならないと考えます。

今、全国的に少子高齢化と人口減少化が進展しており、国の医療政策も大きな転換点を迎えております。地域で暮らす人々が住み慣れた町で安心して暮らしていけるよう、地域を挙げての医療提供体制の構築が求められております。それが、いわゆる地域包括ケアシステムですが、このシステムが絵に描いた餅にならないためには、地域にしっかりとした急性期病院があることが重要です。和歌山県が策定した地域医療構想では、当院には高度急性期・急性期医療を担うことが求められております。紀南地方の皆様方が、この地域で完結した医療を受けられるためには、当院が引き続き高度急性期・急性期医療に重心を置いて医療を提供する必要があります。地域住民、そして県の期待に応えられるよう、十分な医療スタッフをそろえ、より高度で先駆的な医療を提供していきたいと考えております。

この度の総務大臣表彰を励みとし、また被表彰病院の名に恥じることなく、健全な経営を実現し、この地域の医療の発展と充実に貢献できるよう、微力ながら職員一同努力して参る所存でございますので、今後ともご指導ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

## 研修医日記

研修医2年目吉松弘晃です。2年目にしてサザンクロスの自己紹介ページの依頼が回ってきたので書かせていただきます。

出身は奈良ですが、一時期神奈川県に4年ほど住んでいました。小学校で奈良に帰ってきて、それから小中高を奈良県から出ない生活をしていました。奈良から出るときはボウリングをしに大阪に行った程度でしょうか(笑)。基本的には電車に乗らない生活をしていただけなのか、現在もあまり電車に乗ることはありません。専ら車移動です。

そんな僕でしたが、大学進学前は大阪の予備校に通うという経験をしました。そこで都会の人の多さに圧倒され、電車通学、通勤の大変さを思い知らされました。

大学に入学してから、和歌山市に住み始めました。和歌山市では、風の強さに驚かされました。奈良市で暮らしていたときは傘が風で折れることはなかったのですが、和歌山に来てから何本折れたか数えられないくらいです。骨組みの多い傘を買うことが大切なんだと思い知らされました(笑)。風の強さは大学で始めた硬式テニスにも影響があり、海辺の街という実感がありました。海無し県では経験し得ないことが数多くありました。

この度紀南病院勤務となり、田辺市に住み始めました。こちらではまだ傘を折られることもなく、テニス中も風でどうにもならないこともありません。田辺市は過ごしやすい街で、楽しく生活させていただいています。田辺市に来て唯一の欠点のご飯が進みすぎることです。でも、美味しい店には常に興味を持っていますので、ご存知の方は教えていただければ幸いです。

基本的に誘っていただければどこにでも行くタイプで、フットワークは軽い方とっております。紀南病院に来てからの休日はテニスや運動をしたり、ドライブをして過ごしていることが多いです。ドライブでは勝浦でマグロを食べたり、川湯温泉で温泉掘りをしたりとアウトドアな遊びをしています。ダイビングのライセンスは取得しました。今度はバイクの免許を取ろうと試みています。

残す研修期間も9ヶ月ほどとなってしまう、過ぎゆく日の早さに圧倒されつつ、貴重な研修期間で一つでも多くのことを学んで行きたいと思っております。まとまりのない文章となってしまいましたが、これを機会に気軽に声をかけていただくと幸いです。今後とも宜しくお願い致します。



研修医  
吉松 弘晃

## 医療の現場から その1

### 平成30年度大規模地震時医療活動訓練に参加して

紀南病院 DMAT 看護師 栗山 かおり

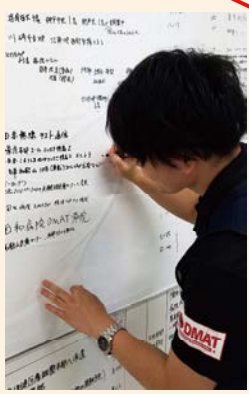


今回、私たちは8月3日から8月4日に大規模地震時医療活動訓練に参加させていただきました。当院からは、看護師の前田さん(ICU)、吉田さん(6西)、松本さん(6西)、レジスタックの土井さん(CE)、大前さん(検査)が訓練に参加しました。

想定は南海トラフ地震発生で被災地は九州・四国であり、全国から377チームの招集、各活動拠点への派遣、各活動場所に応じた活動訓練が行われました。

和歌山県には、徳島県への派遣指示がありました。各2次医療圏に活動拠点本部が立ち上がり、そこに参集し活動が与えられます。私たちは、徳島県南部活動拠点本部(徳島赤十字病院内)に参集し、本部の本部活動業務担当になりました。本部の活動目標は、徳島南部活動拠点本部の立ち上げ強化、南部医療圏ニーズの把握、今後必要となる医療資機材の把握でした。

私たちは、他府県での本部活動は初めてであり、緊張のなか記録担当とEMIS(広域災害救急医療情報システム)担当に分かれ、他の本部要員の方たちとそれぞれの活動をしました。被災情報やチーム参集状況、チームからの被災した病院の情報など多数の情報が集結し、逐一記録していきました。それをもとに本部長が決断し指示していました。



24チームが支援にきており、孤立状態である南部地方に派遣されて病院の被災情報を収集したり、被災の大きい病院の病院避難や患者搬送などの活動がありました。また、途中で余震が起こった想定もありチームの安全確認をしたりと、実際に想定した訓練を実施し貴重な体験となりました。

今回の訓練では、本部活動を行いました。情報が混乱したりして、改めて正確な情報を収集し詳細に記録に残すことが大切であることを学びました。また、EMIS担当では、機器の立ち上げや操作に手惑うこともありましたが、反省や気づきもあり学ぶことができました。

多数の活動内容があることがわかり、活動できるようにしていかなければならないと思いました。徳島県での訓練でしたが、南海トラフ地震が発生すると和歌山県でも起こりうる状態であり、日々の訓練や備えが必要であることを痛感しました。

## 医療の現場から その2

### 「精神科訪問看護ってあるの？」

訪問看護 島倉 知美



皆さんは紀南こころの医療センターに精神科訪問看護があることをご存知ですか？

紀南こころの医療センターでは平成6年より精神科訪問看護を実施していますが、地域の方より、「精神科訪問看護ってあるの？」と質問を受けることがあり、平成28年に地域住民を対象に精神科訪問看護の認知度について調査したそうです。その結果、訪問看護の認知度が92%に対し精神科訪問看護は26%であり、地域での精神科訪問看護の認知度が明らかに低いことがわかりました。そこで、この機会に皆様に精神科訪問看護について知って頂きたいと思っております。

当センターの精神科訪問看護はスタッフ6名で行っています。精神科認定看護師が1名おり、質の高い精神科訪問看護の提供に努めております。

対象となるのは、通院されている方で、精神科医師から訪問看護の指示が出た方です。訪問範囲は田辺市、白浜町、みなべ町、上富田町で当院から直線距離にして半径15km圏内で実施しています。

平成29年の訪問件数は3087件で、利用者数は1288名でした。最近の登録者数は110～120名程で、1日に10～15件前後を訪問しております。現在の訪問回数は個々の利用者のニーズと医師の判断(指示)によりさまざま、週1～2回や月1～2回という方もおられます。

精神科訪問看護は、精神に障害をもちながら地域で生活している方に対して、家庭や地域社会で安心して日常生活を過ごせるように、定期的にご自宅などへ訪問し、相談や必要な支援を行います。相談内容はご本人やご家族の病気や薬の不安や悩み、生活全般等(家事や子育て、対人関係など)、多岐にわたっており、その都度適切な支援を行っております。時には買い物等の外出支援や緊急時の対応も行っております。また、行政、保健、福祉などの関連機関とも緊密に連携し、幅の広い支援につなげています。

私は4月から当部署に配属になりました。わからないことも多いのですが、利用者さんのストレングスに着目し、その人らしい暮らしの実現に向けて、課題の解決に取り組むと共に、夢や希望の実現に向け、良好なパートナーシップを築いていきたいと思っています。

## 当院研修医の症例報告が優秀演題賞に選ばれました！！



研修医  
大森 崇弘

第125回日本循環器学会近畿地方会において、当院研修医大森崇弘先生の症例報告「左冠動脈前下行枝の閉塞で右室梗塞を合併した特異な単冠動脈症の1例」が、学生・初期研修医セッション優秀演題賞を受賞しました。非常に稀な症例を扱われたのですが、よく考察されており優れた報告として審査員から高く評価されました。

当院は地方の病院ではありますが、伝統的に学術教育に力を入れており、医学研究を重視する気風があります。

今回の表彰は、もちろん本人の努力もありますが、それを支える周りのスタッフの教育に対する情熱も合わさって、今回の受賞に繋がったものと思われまます。

# 病院のまど

## New face さ～ん

①出身地②趣味(特技・得意技)③一言アピール (敬称略)

### 乳がん講演会のお知らせ

「はじめよう、乳がん検診。のりこえよう、乳がん」

日時 平成30年9月22日(土)

場所 紀南病院 3階講堂

時間 14:00~16:00(予定)

14:00~14:30

「乳がんにおける薬物治療について」

講師：南和歌山医療センター

薬剤師 岩淵 恵理氏

14:30~15:00

「乳がん検診と精密検査について」

講師：紀南病院

外科主任部長 山邊 和生先生

15:10~15:40

「あなたへ」

講師：乳がん患者・家族の会・スマイルの会

代表 出羽 明美氏

15:40~16:00

個別質問 相談コーナー

乳がんは早期発見・早期治療を行えば治る病気です。  
この機会に乳がんについて一緒に勉強してみませんか

主催：紀南病院

共催：南和歌山医療センター

共催：ピンクリボン紀南

※乳がん触診模型の体験コーナーもあります。(3階講堂付近)  
時間外入口よりお入り下さい。

### 《医師》

《リハビリテーション科》

いしもと ゆうゆ

石元 優々

①高知県②カラオケ③  
明るく楽しく紀南を盛り  
上げていきたいと思いま  
す。よろしく願い致します。



《耳鼻咽喉科》

さかたに ひでき

酒谷 英樹

①奈良②温泉③まだ  
まだ未熟で皆様にご  
迷惑をおかけするこ  
とになるかと思いま  
すが、どうかよろしく  
お願いします。



### 学校便り

学校が新築移転し1年が経ちました。学習環境が格段に良くなったせいも夏季休暇中でも、自主登校し3年生は国家試験対策のため模試を受けたり、ケーススタディ学習として課題に取り組んでおり、1・2年生も技術練習や自己学習をしておりました。

#### 8月7日/学校説明会

高校生や社会人、保護者の方々が参加されました。

#### 8月23日・24日/1年生教育研修

「みんなで協力して計画を立てよう。コミュニケーションを取りながらみんなで楽しもう。」と学生が主体となって企画し、レク(ドッチボール)をしたり、紀州備長炭記念公園でBBQを実施しました。

### 編集後記

今年は国内最高気温を5年ぶりに更新する程の猛暑日が続きました。我が家の子供達は夏休みでしたが、さすがの暑さに室内で過ごすことも多く、我が家の電気代も至上最高となりそうです…(>\_<)暑さの影響もありますが、年々加齢を感じる今日。今年の秋は“食欲の秋”ではなく、“スポーツの秋”に挑戦したいと思っています。涼しい秋でありますように。 H子

## daikoku 株式会社 大黒

本社：〒640-8525 和歌山県和歌山市手平 3-8-43

和歌山事業所	〒641-0012 和歌山市紀三井寺 855-71
紀三井寺事業所	〒641-0014 和歌山市毛見 1111-1
トライアルフィールド ayumino	〒594-1157 和泉市あゆみ野 4-6-6
南大阪支店	〒594-1157 和泉市あゆみ野 4-6-6
大阪支店	〒577-0015 東大阪市長田 3-7-11
神戸支店	〒653-0042 神戸市長田区二葉町 1-1-22
奈良支店	〒630-8115 奈良市大宮町 6-3-13 大宮ヨシエビル
紀南支店	〒646-0011 田辺市新庄町 3778-2
阪神営業所	〒661-0981 尼崎市猪名寺 1-22-22
新宮営業所	〒647-0052 新宮市橋本 2-5-61
東京麹町オフィス	〒102-0083 千代田区麹町 3-5-2BUREX 麹町 301号
京都丸太町オフィス	〒606-8395 京都市左京区丸太町通川端東丸太町 32-3 上田ビル 3F

DAIKOKU MEDICAL SUPPLY



## SEIKO MEDICAL

医療の先へ。セイコーメディカル株式会社

医療・保健・福祉・介護の分野で、

「生命を守る人の環境づくり」を通じて

地域の発展に貢献することが

私達の使命です。

■本社  
〒640-8287 和歌山県和歌山市薬港6丁目9番地の10  
TEL. 073-435-2333 FAX. 073-435-2223

■大阪支店  
〒595-0012 泉大津市北畠中町2丁目5番28号  
TEL. 0725-31-3610 FAX. 0725-31-3619

■医大前営業分室  
〒641-0012 和歌山県和歌山市紀三井寺768番地の13  
TEL. 073-448-3787 FAX. 073-448-3781

■田辺営業所  
〒646-0011 田辺市新庄町2744番地  
TEL. 0739-25-4535 FAX. 0739-25-4578

■新宮営業所  
〒647-0072 新宮市峰伏20番22号  
TEL. 0735-31-9130 FAX. 0735-31-9133

■奈良営業所  
〒632-0082 天理市荒崎町56番地の4  
TEL. 0743-64-3607 FAX. 0743-64-4810



SHIP HEALTHCARE GROUP

セイコーメディカル株式会社